

研究課題名

大腸憩室出血の重症化および再出血に影響する因子の検討

研究の意義・目的

高齢化に伴い大腸憩室出血の患者さんは増えています。

大腸憩室出血の予防法は確立されておらず、重症の患者さんや再出血した患者さんの診療は難渋することがあります。

重症になる原因がわかれば、早期に重点的な治療を行うことで、死亡率の低下が期待できます。

再出血する原因がわかれば、その原因にアプローチすることで、再出血リスクの低下が期待できます。

研究機関

深谷赤十字病院 消化器科

方法

本調査研究に対象となる患者さんのカルテを調査し、必要なデータを記録します。

プライバシーの保護と個人情報の取り扱いについて

本研究に関連するすべての情報は、研究の為にだけに用いられ、すべての個人情報は秘密厳守で取り扱います。

研究に必要なデータの記録には、患者さんの氏名・イニシャル・住所等、調査の対象となる患者さんを特定できる情報は一切記載しません。

※この研究に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先へご連絡ください。

〈問い合わせ先〉

研究機関名：深谷赤十字病院 消化器科

住 所：埼玉県深谷市上柴町西5丁目8番地1

電 話：048-571-1511（代表）

担当者：葛西 豊高